

教科名	工業	科目名	自動車実習	
科目の目標	自動車に関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に習得させ、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。			
履修学年	3学年	学科・コース	自動車科	
単位数	4単位	授業形態	グループ別授業（5班）／一斉	
教科書		副教材等		
1 学習の目標	1. ガソリン・ディーゼルエンジンの構造と機構、調整方法を理解する。 2. シャシに関する各装置の構造と機能、調整方法を理解する。 3. 車両試験の点検方法を理解する。 4. 自動車に使用されている電気装置について理解する。			
2 学習内容と進め方	1. ガソリンエンジンの分解・組立・運転・調整      2. ディーゼルエンジンの分解・組立・運転・調整 3. ホイールバランスの調整、ブレーキ・ハブ・サスペンション・ディファレンシャルの分解・組立・調整 4. 日常点検・定期点検      5. 自動車の電気装置			
3 学習の留意点	1. 実習の目的を良く理解し、自主的な取り組み、創意工夫の見られる積極的な姿勢が必要です。 2. 複数で各装置の分解・組立を行うので、相手と協力して安全作業を心掛けることが大切です。 3. 機械の点検・取扱には注意事項を遵守するとともに、整理整頓を徹底する。			
4 評価の方法	実習作業中の取り組み・態度、提出物の状況により総合的に評価する。			
5 授業計画				
月	単元	学習内容	評価の観点	考查等
4 ～	ガソリンエンジン実習	1. ガソリンエンジンの分解・組立 2. ガソリンエンジンテスト・調整 3. 燃料噴射の基本 4. 日常の整備点検	<b>【関】</b> ガソリンエンジンに興味関心を持ち、その構造・機能を理解しようと意欲的に取り組む態度が見られる。  <b>【思】</b> ガソリンエンジンの構造・機構を理解し、安全に取り扱うための判断力が身に付いている。  <b>【技】</b> エンジンの各機構を正しく分解・組立・調整できる技能が身に付いている。  <b>【知】</b> エンジンの各機構・部品名やその働き、原理について理解している。	この単元を自己評価してみよう <b>A B C</b>
	シャシ実習	1. ホイールバランスを使用して、バランス調整を理解する。 2. 自動車をリフトアップして、ブレーキ・懸架装置・ハブ等の分解・点検、ディファレンシャルの組立調整、ブレーキのエア抜きを行う。	<b>【関】</b> 自動車の走行に必要な各装置に興味・関心を持ち、各装置の構造・機能を理解しようと意欲的に取り組む態度が見られる。  <b>【思】</b> 自動車の走行に必要な各装置の構造・機構を理解し、安全に取り扱うための判断力が身に付いている。  <b>【技】</b> 各装置の調整や分解・点検・組立、検査できる技能が身に付いている。  <b>【知】</b> 走行に必要な各機構・部品名やその働き、原理について理解している。	この単元を自己評価してみよう <b>A B C</b>
	ディーゼルエンジン実習	1. ディーゼルエンジンの分解・調整・組立。 2. 列型燃料噴射ポンプの分解・組立。	<b>【関】</b> ディーゼルエンジンに興味関心を持ち、その構造・機能を理解しようと意欲的に取り組む態度が見られる。	この単元を自己評価してみよう <b>A B C</b>

			<p>【思】 ジーゼルエンジンの構造・機構を理解し、安全に取り扱うための判断力が身に付いている。</p> <p>【技】 エンジンの各機構を正しく分解・組立・調整できる技能が身に付いている。</p> <p>【知】 エンジンの各機構・部品名やその働き、原理について理解している。</p>	
	電装実習	<p>1. 自動車に使用されている電気装置について</p> <p>2. トランジスタを用いたSW回路について</p> <p>3. 点火装置について</p>	<p>【関】 電気装置の仕組みや原理に、関心を持ち、意欲的に取り組む態度が見られる。</p> <p>【思】 半導体の特性、基本的利用技術を理解し、応用する能力が身に付いている。</p> <p>【技】 電気装置・機器について、正しく取り扱う技術が身に付いている。</p> <p>【知】 電気装置の基本的知識・役割について理解し、エンジンの作動や自動車の作動において重要な役割を果たしていることを理解している。</p>	<p>この単元を 自己評価してみよう</p> <p>A B C</p>
	車両試験実習	<p>1. 日常点検・定期点検について。</p> <p>2. ブレーキテスト スピードメータテスト サイドスリップテスト ヘッドライトテスト</p>	<p>【関】 自動車の点検や検査方法に関心を持ち、意欲的に学ぼうとする態度が見られる。</p> <p>【思】 各検査機器・装置の取扱について理解し、安全かつ適切に取り扱うための判断力が身に付いている。</p> <p>【技】 各検査機器・装置について、正しく取り扱う技術が身に付いている。</p> <p>【知】 点検項目の測定方法・作業手順を理解するとともに、法令基準について理解している。</p>	<p>この単元を 自己評価してみよう</p> <p>A B C</p>
6		企業見学	<p>【関】 自動車の整備や再利用の現状や課題について意欲的に調べようとする態度が見られる。</p> <p>【思】 自動車の整備や再利用の現状や課題を追求する中で、多面的に自動車工業を捉え、自分なりの考えを持つことができる。</p> <p>【技】 見学した内容をわかりやすくレポートにまとめることができる。</p> <p>【知】 自動車の整備や再利用に関わる特色と課題、働く人々の工夫や努力について理解する。</p>	

【関】は「関心・意欲・態度」、【思】は「思考・判断・表現」、【技】は「技能」、【知】は「知識・理解」をあらわす。